令和８年10月９日

各関係機関の長　殿

国立大学法人宇都宮大学
学　長　　池　田　　宰

宇都宮大学教員公募について（依頼）

謹啓 時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

このたび宇都宮大学では，下記の要領により教員を公募することになりました。貴機関関係者にご周知方よろしくお取り計らいくださるようお願いいたします。

謹白

記

１．職名及び人員　　助教　１名

２．専任配置先　　農学部

２．専門分野　　国際農業経済・経営学分野

３．仕事内容　　①国際農業経済・経営学、フードジオグラフィーの講義
②エコロジカル社会経済学基礎演習，エコロジカル社会経済学応用演習，エコロジカル社会経済学分析演習のゼミナール
③農業経済学科・エコロジカル社会経済学科卒業論文の指導
④大学院修士課程の国際農業経済・経営学の講義
⑤基盤教育における専門導入科目の農学部フィールド実践演習Ⅰ・Ⅱ（分担）
（変更の範囲）
上記から，本学の大学教員の業務の範囲内で変更があります。

４．勤務形態　　常勤・任期５年
本公募では，テニュアトラック制による採用となります。宇都宮大学テニュアトラック制に関する要項に基づき，テニュアトラック期間が満了する６月前までにテニュア付与の審査を行い，合格すればテニュアを付与します。テニュア審査は，中間評価及び最終評価により行います。
最終評価の結果，不合格となった場合は，テニュアトラック期間の満了をもって退職となります。
テニュアトラック期間に出産・育児・介護のライフイベントがあった場合には，休業期間に応じテニュアトラック期間を一定期間延長することが

できます。
その他待遇は国立大学法人宇都宮大学職員就業規則に従います。

5．採用予定日　令和9年4月1日以降のなるべく早い時期

6．応募資格
①博士の学位（外国において授与された方はこれに相当する学位を含む）を有し，学部生，大学院生の教育並びに研究指導に熱意をもち，学部・学科等の大学運営に関わる業務に積極的に取り組める者。
②国際農業経済・経営分野を専門分野とし，国内外の農業問題の調査・解析に従事し，農業関連産業・アグリビジネス発展に貢献でき，海外の教育・研究機関との交流にも意欲的な若手研究者。
③国籍は問わないが，日本語で上記の担当授業科目を実施する能力を有する者。
④３編以上の原著論文と学術著書を有する者が望ましい。

7．待遇
①給与等　国立大学法人宇都宮大学年俸制給与規程に定めるところによる。（令和8年度時点）
【基本年俸】　採用時の基本年俸は，採用者の経験年数と同程度の経験年数を有する基本年俸表又は教育職俸給表（一）の適用される職員が受ける基本年俸との均衡を考慮して決定する。
（以下は，地域手当を含む）
（参考）助教　修士課程修了後の経験年数が1年未満　3,714,048円
助教　博士課程修了後の経験年数が1年未満　4,204,512円
准教授　博士課程修了後の経験年数が10年　5,185,440円
【諸手当】　基本年俸のほか，支給要件を満たす手当を支給する。（以下は主な手当）
扶養手当　扶養親族のある者に支給（子の場合 月額13,000円）
住居手当　借家に住んでいる者に支給（上限 月額28,000円）
通勤手当　交通機関等で通勤する者に支給（上限 月額150,000円）
業績給　期末勤勉手当相当額として，基本年俸の約38%
さらに外部資金獲得額に応じて間接経費の一部を支給
②勤務形態　専門業務型裁量労働制を適用し，労働時間の算定はみなし労働時間（1日7時間45分）による
③休日　土・日，祝日，年末年始（12/29～1/3），学長が指定した日
④休暇　年次有給休暇，特別休暇等
⑤社会保険等　文部科学省共済組合，雇用保険加入
⑥試用期間　無（テニュア付与審査を経て，テニュア取得が可能）
⑦雇用者　国立大学法人宇都宮大学
⑧勤務場所　宇都宮大学峰キャンパス

（変更の範囲）
本学のすべての事業場（テレワークを行う場所を含む）

８．応募書類　①履歴書（様式指定）　１部
②業績調書（様式指定）　１部
③教育・研究における抱負（様式指定）　１部
④これまでの研究内容（Ａ４判用紙に 2,000 字程度，様式自由）
⑤社会貢献に対する抱負（Ａ４判用紙に 1,000 字程度，様式自由）
⑥応募者の研究・人物等について照会できる方（２名）の氏名・所属・連絡先
⑦主要な原著論文と学術著書３編以内（別刷りまたは学会等の Web サイトに掲載されたＰＤＦをダウンロードして印刷したもの。学術著書ではコピー。オンラインによる提出の場合はＰＤＦで可。）
なお，様式①～③は本学ＨＰ（https://www.utsunomiya-u.ac.jp/outline/saiyojyoho.php）よりダウンロードしてください。

９．応募締切日　令和８年１２月９日（水）　必着

10．応募書類の送付先　【オンラインによる提出の場合】
宇都宮大学農学部　西山　未真　宛
e-mail：mima@a.utsunomiya-u.ac.jp
【郵送による提出の場合】
〒321-8505　栃木県宇都宮市峰町 350
宇都宮大学農学部　西山　未真　宛
※封筒には「教員応募書類在中」と朱書きし，簡易書留で郵送してください。

11．選考方法　①書類選考後，面接による二次審査を実施します。なお，面接を行う場合の旅費等は自己負担となりますので，ご了承ください。
②応募時に提出された書類の個人情報については，採否の検討および決定に限って使用いたします。
③応募書類（別刷りまたは学会等の Web サイトに掲載されたＰＤＦをダウンロードして印刷したものを含む）は原則返却しませんので，あらかじめご了承ください。返却を希望される場合は，切手を添付した返送用の封筒を同封して下さい。

12．特記事項　①本学は，男女共同参画社会基本法の趣旨に沿って，女性の積極的な応募を歓迎いたします。特に，本公募では，選考において業績評価が同等と認められる場合には，女性を優先して採用します。
②本学は子育て・仕事の両立支援策を推進しており，峰キャンパス内には社会福祉法人峰陽会が運営する「宇都宮大学まなびの森保育園」があり

ます。（定員等により入園できない場合があります。）

③峰キャンパス及び陽東キャンパスのある宇都宮市は、共働き子育てしやすい街ランキング（日経クロスウーマンと日本経済新聞の自治体調査）で高い評価を受けています。

④教育機関として性暴力等やセクシュアルハラスメントに対して厳格な措置を講じる必要があることから，採用条件の一つとして，「特定性犯罪」※ これに相当する行為又はセクシュアルハラスメントによる刑事罰（刑事手続き中や裁判中のものを含む。），懲戒処分（学生としてのものを含む）又は分限処分を受けていないことを求めることとしています。このため，選考過程において，履歴書によりその有無を確認します。

⑤本学の附属学校で業務に従事する場合は，「特定性犯罪」※ の前科の有無を確認するために，法令に基づき「犯罪事実確認」※ を行います。

※ 学校設置者等及び民間教育保育等事業者による児童対象性暴力等の防止等のための措置に関する法律（令和 6 年法律第 69 号，令和 8 年 12 月 25 日施行）で定めるもの

13. 受動喫煙防止　　全キャンパス敷地内は全面禁煙となっております。

14. 関係規程等　　（参考：国立大学法人宇都宮大学テニュアトラック制に関する要項）
https://public2.legalcrud.com/utsunomiya_univ/act/110000136.html
（参考：国立大学法人宇都宮大学テニュアトラック教員の評価及びテニュア審査に関する申合せ）
https://public2.legalcrud.com/utsunomiya_univ/act/110000137.html
（参考：国立大学法人宇都宮大学年俸制給与規程）
https://public2.legalcrud.com/utsunomiya_univ/act/110000036.html
（参考：国立大学法人宇都宮大学職員就業規則）
https://public2.legalcrud.com/utsunomiya_univ/act/110000026.html
（参考：宇都宮大学規程集トップページ）
https://public2.legalcrud.com/utsunomiya_univ/index.html

15. 問い合わせ先　　〒321-8505　栃木県宇都宮市峰町 350
宇都宮大学農学部　西山　未真　宛
e-mail：mima@a.utsunomiya-u.ac.jp

<付記>

農学部は，令和 8 年に改組を実施し、これまでの 5 学科体制から、4 学科体制に変更しています。従いまして、本公募教員が採用される令和 9 年度は、1 年生、2 年生がエコロジカル社会経済学科で、3 年生、4 年生が農業経済学科のカリキュラムで教育を実施します。その両方の教育に関

わっていただくことになります。

また、農学部は、東京農工大学および茨城大学とともに後期のみの博士課程大学院（東京農工大学大学院連合農学研究科）を構成しており，採用後は連合農学研究科の指導教員資格審査を経て博士課程の教育研究の指導にも携わって頂くことになります。また，本公募の国際農業経済・経営分野は，本学の地域創生科学研究科を構成しており，地域創生科学研究科の代議員会を経て博士前期課程の教育研究の指導にも携わっていただくことになります。

農学部では，生命の営みを遺伝子レベルから個体レベル，集団レベルにおいて研究して，食料生産およびヒトが健康に生きるための食品や日用品の開発，地球上の生態系の保全にも貢献することを目指しています。

エコロジカル社会経済学科では，国内外の食料・農業・農村について、社会科学を専門分野とし、環境、社会、経済の持続可能性を追求する視点から教育・研究を行っています。社会科学の理論，分析手法の修得とともに，演習や実習を通して「自ら学び，自ら思考する」能力の向上を図り，実社会に貢献できる人材を養成します。

このような視点に立ち共に教育，研究，社会貢献を担っていく人材を求めています。なお，学科の概要についてはホームページ（https://agri.mine.utsunomiya-u.ac.jp/gakka/e.html）を参照してください。